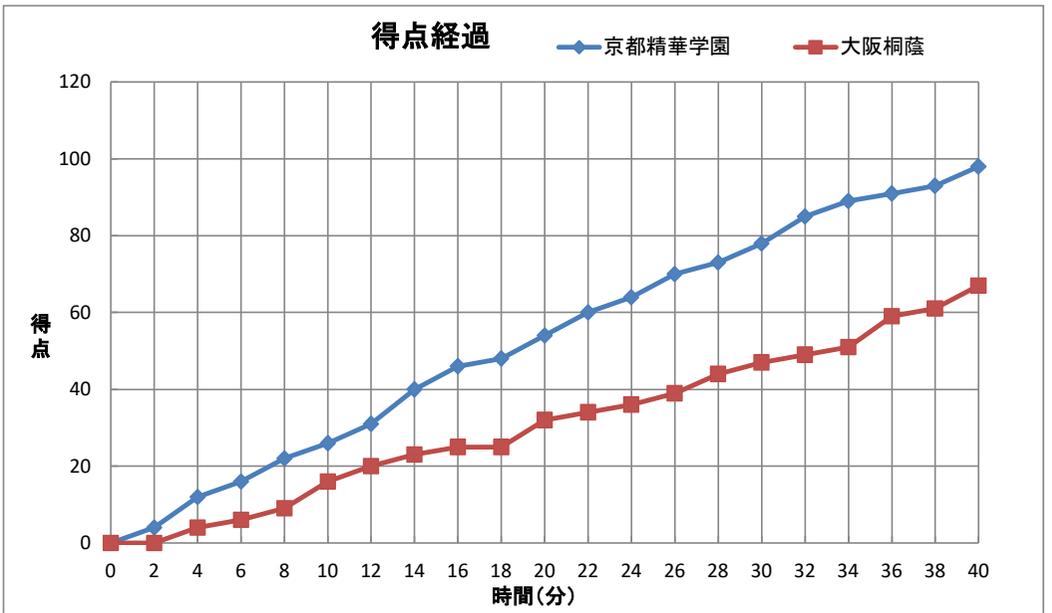




第35回近畿高等学校バスケットボール新人大会

個人トータル表

女子		令和7年2月16日		9:30 開始													
準決勝		和歌山ビックホエール		A													
◎ 京都精華学園 98 (京都)		<table border="1"> <tr><td>26</td><td>1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>28</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>24</td><td>3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>20</td><td>4th</td><td>20</td></tr> </table>		26	1st	16	28	2nd	16	24	3rd	15	20	4th	20	67 大阪桐蔭 (大阪)	
26	1st	16															
28	2nd	16															
24	3rd	15															
20	4th	20															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	坂口 美果	12	0	5	2	2	* 4	舂本 碧珠	11	1	2	4	4				
* 5	金谷 悠加	2	0	1	0	2	* 5	中村 あおい	4	0	2	0	4				
* 6	石渡 セリーナ	8	0	4	0	0	* 6	岡田 若菜	9	1	2	2	4				
7	太田 楓	0	0	0	0	0	7	藤澤 滯	-	-	-	-	-				
8	十倉 陽美	0	0	0	0	0	* 8	西村 亜優	14	1	5	1	4				
9	高山 留里那	4	1	0	1	0	9	稗田 美莉奈	2	0	0	2	0				
10	田中 鈴音	2	0	1	0	1	10	松田 みなみ	-	-	-	-	-				
11	速水 純里	0	0	0	0	1	* 11	松葉 美緒	10	2	2	0	2				
12	河合 美蒼	0	0	0	0	2	12	池本 紗優	-	-	-	-	-				
* 13	吉田 ひかり	4	0	2	0	1	13	山田 凜音	3	1	0	0	0				
14	石井 日菜	5	1	1	0	1	14	岡見 凜	-	-	-	-	-				
* 15	ンガルラ ムクナ リヤ	21	0	9	3	1	15	堀江 音	6	0	2	2	2				
16	満生 小珀	12	1	4	1	3	16	申 俐華	8	0	1	6	1				
17	堀 心優	3	0	1	1	2	17	寺町 寧々花	-	-	-	-	-				
18	フェリックス ナゲマ クララ	25	0	10	5	4	18	宮崎 望叶	-	-	-	-	-				
コーチ	山本 綱義						コーチ	市川 藤乃									
Aコーチ	豊田 薫						Aコーチ	稲原 久美子									
合計		98	3	38	13	20	合計		67	6	16	17	21				
クルーチーフ: 深野木 慧 1stアンパイア: 鈴木 恵里奈 2ndアンパイア: 石井 寛都																	



TO	1・2Q	3・4Q	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:
TeamB	4:31	:	:	:	:	:

〔戦評〕

[第1Q]
 京都精華#4#5#6#13#15、大阪桐蔭#4#5#6#8#11でスタート。開始早々、京都精華が高さを活かしたプレーで主導権を握る。開始5分12対4とリードされた大阪桐蔭はタイムアウトを請求。大阪桐蔭はゾーンとマンツーマンを使い分け京都精華のオフェンスのミス进行誘う。大阪桐蔭は#15がリング下で踏ん張り、#11の3Pシュートなど果敢に攻めるも、京都精華#9#16の3Pシュートが決まり大阪桐蔭に主導権を渡さず。26対16で第1Q終了。

[第2Q]
 京都精華はマンツーマン、大阪桐蔭はゾーンでスタート。京都精華は#15がリング下を支配し、#5がゲームをコントロールする。対する大阪桐蔭は#4#6のコンビプレーが光る。#8#13が3Pシュートで応戦するも、京都精華の勢いは止まらず、54対32で京都精華がリードし第2Q終了。

[第3Q]
 両チームマンツーマンでスタート。大阪桐蔭は、京都精華の激しいディフェンスになかなかシュートを決めきれない。京都精華は、インサイドを中心に確実にシュートを決め、点数を重ねる。負けじと大阪桐蔭は#15が身体を張ったプレーでチームを引っ張り#11の3Pシュートが決まるもなかなか点差は縮まらず、78対47で第3Q終了。

[第4Q]
 両チームマンツーマンでスタート。追い上げたい大阪桐蔭は#4のドライブ、#8、#16がポストプレーで果敢に攻める。さらに粘りのディフェンスで京都精華のミス进行誘い奮闘するも力及ばず。98対67で京都精華が決勝に進出を決めた。

戦評: 古久保 亜伊 記録: 桐蔭